

News Letter

Vol. **7**
May
2016



埼玉大学時代

- 物理学科に進学。大学の物理の授業は面白いと思ったものもあって、物理の魅力にも惹かれました。
- ただし、多くの時間を弓を引くことに費やしました。(反省:学部時代は学問の基礎を学ぶ時代。もう少し物理学を勉強しておけばよかったと思います。)



埼玉大学3年の4月、埼玉県大宮市氷川神社の花まつり弓道大会

INDEX P02

梶田隆章先生凱旋!

- 講演会「ニュートリノの小さい質量」 **ノーベル物理学賞**
- 記念植樹式「ニュートンのリンゴの木」

Focus of activation P03

- 図書館
ラーニングcommons完成
- NTT 東日本埼玉事業部と
包括的連携協定を締結
- 埼玉大イルミネーション
2015 点灯式
- ロシアの大学と
大学間学術協定を締結 他

Information P04

- 平成 28 年度 役員等紹介
- オープンキャンパスのお知らせ 他
- 埼玉大学基金のご案内



梶田隆章先生凱旋！

母校埼玉大学で講演会

素粒子ニュートリノの研究で2015年ノーベル物理学賞を受賞した東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章先生（1981年理学部物理学卒業）が4月22日（金）、埼玉大学で受賞記念講演会を行いました。当日は本学卒業生である夫人の美智子さんも出席され、会場の約500人の学生たちから大きな拍手で迎えられました。

会場満員の様子



記念品贈呈後、握手する梶田先生と山口学長

記念講演会「ニュートリノの小さい質量」

埼玉大学時代～大学院時代

大学の物理の授業は面白いと思ったものもあり、物理の魅力に惹かれていきました。ただし、多くの時間を弓道に費やしていました。学部時代は学問の基礎を学ぶ時代なので、もう少し物理を勉強しておけば良かったと反省もしています。

学部時代に触れた物理の魅力に惹かれ、大学院で物理学研究してみたいと思うようになりました。そのため、4年生になったら弓道部の主将をすることが決まっていたのですが、3年生の秋に無理を言って辞退させていただき、大学院受験の勉強に励みました。このことは、私の人生にとって、重要な決断だったと思っています。

大学院の研究室を選ぶときは、素粒子、宇宙線のような分野に興味があり、小柴研究室に所属しました。



「ニュートリノの小さい質量」をテーマに講演する梶田先生



学生からの質問に答える梶田先生

研究者時代

実験の原動力は、最初のアイデアと人です。私は信じられないくらい良い先生方、良い仲間恵まれていました。このような仲間囲まれて様々なことを吸収し、自分を磨けることが本当に大切なことです。そんななかで、大気ニュートリノ中のミューニュートリノの数の少なさに疑問を持ったことが研究者人生の転機となりました。ニュートリノ振動の可能性の一端をつかみ、常に自分を正しいと信じて、積極的に研究を進めたことが、最終的にニュートリノ質量の発見につながったということになります。

なぜニュートリノの質量が大切なのか、ニュートリノの質量はほかの電子等に比べて約100億倍軽く、このことが、我々が素粒子の世界や宇宙の神秘をより深く理解する鍵だろうと考えています。私の場合、ものすごく幸運なことに、良い師、良い仲間、良い研究プロジェクトに恵まれました。その結果、ニュートリノの小さい質量を発見できました。

若い皆さんは、いつ本当に人生を決めるような大切な出会いがあるかわからないので、広く目と心を開いて、そして大切なことに会ったときのための準備をしてください。もし、皆さんの中で科学研究等、学問の道に進む人が一人でも多くいれば、とても嬉しいです。

記念植樹式 ～ニュートンのリンゴの木～

講演会後には、理学部講義実験棟前で記念植樹式が行われ、東京大学附属小石川植物園より譲り受けた「ニュートンのリンゴの木（※）」を植樹しました。山口宏樹学長から「毎朝、木の成長を見ながら学長室に通い、第2、第3の受賞者が出ることを祈りながら毎日過ごしたい」と挨拶があり、梶田先生からは「当時大学生だったころ学んでいた建物の前に植樹していただけて嬉しいです。本当にいい木を選んでくれました。少しでも多くの学生に埼玉大学から学問の道に進んでほしい、若い人には期待しています。」と、未来ある学生たちへのメッセージが送られました。

※「ニュートンのリンゴの木」…リンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したイギリスの物理学者アイザック・ニュートンの生家にあつたリンゴの木は、接ぎ木によって1964年、東京大学附属小石川植物園に分譲されました。このリンゴの木は、「科学の心を育てる記念樹」として親しまれており、今回、梶田先生のノーベル物理学賞受賞の記念樹として、小石川植物園より譲り受けたものです。



挨拶する梶田先生



植樹する様子



植樹式後の記念撮影



弓道部を訪問 後輩達と記念撮影

Focus 1 第5回埼玉大学
ホームカミングデーを
開催 **2015.10.31**

埼玉大学ホームカミングデーは、同窓生が旧友や恩師と再会し、また現役教職員との親睦を深めていただき、母校の近況を知っていただくという思いを込め、埼玉大学同窓会の全面的な協力の下に開催しています。今回は歓迎会の中で、ノーベル物理学賞を受賞された本学卒業生の梶田隆章先生にサプライズゲストとして出演いただき、「学問の入り口を埼玉大学で過ごせたことに感謝したい」と笑顔で挨拶がありました。梶田先生が在籍していた弓道部の主将からは、お祝いに花束が贈呈されました。



Focus 2 学生が埼玉県知事に
政策提言を行いました **2015.11.2**

本学学生が、上田清司埼玉県知事に政策を提言する「知事と学生の意見交換会」が開催されました。地域活性化、交通安全対策、県内文化の発信等をテーマに4つのゼミから政策提言を行いました。この取り組みは若者の感性を県政に生かすとともに、大学を生きた学習の場とすることを目的に、今回で6回目の開催となりました。上田知事からは「収入に結びつくプランがあると良かった。政策はアイデア、データ、予算がそろって実現性が高まる」との講評がありました。



Focus 3 図書館
ラーニングcommonsが
完成しました **2015.11.5**

11月5日(木)、図書館ラーニングcommons(新棟)がオープンし、記念として完成披露会が開催されました。図書館ラーニングcommonsでは、学生の個人学習、グループ学習、セミナーなど、学習の形態に応じた利用ができ、1階ラウンジでは飲食が可能となりました。また、図書館ラーニングcommons1階展示コーナーにおいて「梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念展示」が開催されていますので是非お越しください。



Focus 4 NTT 東日本埼玉事業部と
包括的連携協定を締結 **2015.12.1**

東日本電信電話株式会社埼玉事業部と埼玉県を含む北関東地域の持続的発展と人材育成を目的に包括的連携協定を締結しました。締結式では、笠井澄人取締役事業部長は「学生の若い力、教員の研究力を活用させていただき、北関東地域の活性化に貢献していきたい」と述べ、山口宏樹学長は「地域活性化を積極的に進めるという埼玉大学のミッション達成のために、双方向の活動を活性化させ、地域に貢献していきたい」と今後に向けた期待を述べました。



Focus 5 第16回 埼玉大学
産学交流会テクノカフェを
開催 **2015.12.3**

埼玉大学産学交流会テクノカフェ(主催:埼玉大学産学官連携協議会、共催:埼玉大学)が開催され、協議会会員企業・団体を中心に125名が参加しました。「進む高齢社会の中で一企業の社会的使命、地域社会との共生、貢献を考える」をテーマに、高齢化が急速に進む埼玉県において、健康で生きがいを持てる、安全、安心、より住みよい地域社会を目指し、地域社会との共生、企業の社会的使命、研究力との向上、大学・自治体・団体等との連携促進や活性化を焦点に講演等が行われました。



Focus 6 埼玉イルミネーション
2015 点灯式を開催 **2015.12.7**

図書館前広場にて、学生サークル「埼玉大学イルミネーションプロジェクト実行委員会」の主催により、イルミネーション点灯式を行いました。学生や地域の皆様方にも多数お出でいただき、100名を超える参加がありました。埼玉イルミネーション実行委員会では、地域と大学の「笑顔のかけ橋」となることを目標に活動しており、地域の方々と共に作り上げた手作りイルミネーションを点灯しました。



Focus 7 東日本高速道路株式会社
関東支社と包括的連携
協定を締結 **2016.1.19**

東日本高速道路株式会社関東支社と、共同研究の実施、地域特性を活かした研究及び研究成果の活用、教育・人材育成の推進及び相互支援等を目的に、包括的連携協定を締結しました。締結式では、山口宏樹学長は「研究力と人材育成力の強化及び地域活性化拠点としての役割を推進すべく有意義な取り組みにしていきたい」と述べ、横山正則支社長は「本協定により、高速道路の長期的安全に向けた取り組み、地域創生や地域連携に資する高速道路のあり方など、多方面での産学連携推進が可能となる」と今後に向けた期待を述べました。



Focus 8 産学官連携セミナーを
開催 **2016.1.22**

産学官連携セミナー(主催:埼玉りそな産業経済振興財団、埼玉大学 共催:埼玉りそな銀行)を開催し、埼玉県内企業を中心に、合わせて115名の参加がありました。今回は、埼玉県内には工場省力化を支える基盤技術を持つ企業も多く、産業用ロボットの導入による生産性の向上が課題となっていることを踏まえ、「産業用ロボットによる次世代生産システム」をテーマに基調講演等が行われました。



Focus 9 首都高速道路株式会社と
包括的連携協定を締結 **2016.2.3**

首都高速道路株式会社と、高速道路関連における産学連携を推進することにより、研究成果の普及・社会活用を促進するとともに、人材育成、学術振興および教育の充実等の推進を目的に、包括的連携協定を締結しました。山口宏樹学長は「第5期科学技術基本計画を具体化するうえで、この連携によりブレックスもたらしたい」と述べ、菅原秀夫社長は「かねてよりの建設工学系の連携はもちろん、分野の枠を超えた連携による効果が期待できる。これまで以上に、お客様に安全安心なサービスを提供する使命を果たしたい」と述べました。



Focus 10 ロバチェフスキ大学(ロシア)
と大学間学術協定を締結 **2016.2.17**

山口宏樹学長はロバチェフスキ大学を訪問し、チュプルノフ学長と共に大学間学術協定書ならびに学生交換覚書に署名し、同大学との協定を正式に締結しました。同大学は、ロシア政府重点プログラムのもと最先端分野の研究で世界を目指しつつも、首都モスクワ近郊に位置する地域における知的拠点として貢献することが期待されていることなど、本学と共通の状況下であり、今後も研究開発・学生交流における更なる協力体制の構築が期待されています。



Focus 11 報道各社との情報交換会
「埼玉学術懇話会」を開催 **2016.3.17**

本学と県政記者クラブに加盟している報道各社支局長の両者が「埼玉学術懇話会」を開催し、本学の教育研究活動に関して情報交換を行いました。記者発表では、山口宏樹学長から、第3期中期目標期間における本学の教育研究機能の強化ビジョン「[All in One Campus at 首都圏埼玉~多様性と融合の具現化~]とその実現のための取り組みとして、文理融合型産学官官・共創スペース[先端産業国際ラボ]及び地域ニーズに即した人材育成のための「統合キャリアセンターSU」の設置について説明があり、産学官官の連携を促す地域活性化拠点としての機能をより強化していくことを述べました。



Focus 12 JR 東日本大宮支社と
ワークショップを開催 **2016.3.28**

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社との包括的連携協定に基づき、埼京線沿線価値向上に向けたワークショップが開催されました。学生からの課題発表に続き、ディスカッションが行われ、最終報告した学生からは、様々なアイデアと共に、沿線の魅力を幅広くアピールしていくことの重要性が述べられました。伊藤副学長は、協定に基づく今後の取り組みについて説明を行い、平成28年度に開講する「地域志向科目」と関連させた取り組みを協議・検討し、推進していきたいと述べました。



Information

平成 28 年度 役員・学長特別補佐・副学長・学部長・研究科長

学長	山口 宏樹	学長特別補佐	尾崎 正義	教育学部長	細淵 富夫
理事 (研究・産学官連携担当)・副学長	佐藤 勇一	副学長	中林 誠一郎	理学部長	鈴木 健
理事 (教学・学生担当)・副学長	齊藤 享治	副学長	伊藤 博明	工学部長	重原 孝臣
理事 (総務・財務担当)・事務局長	渡邊 淳平	副学長	堀田 香織	大学院人文社会科学研究科長	伊藤 修
理事 (特命事項担当) (非常勤)	吉澤 雅隆	副学長	川又 伸彦	大学院教育学研究科長	細淵 富夫
監事	齋藤 直樹	教養学部長	市橋 秀夫	大学院理工学研究科長	堀尾 健一郎
監事 (非常勤)	小川 千恵子	経済学部長	柳澤 哲哉		

イベント案内

●オープンキャンパスのお知らせ

開催日	イベント名	対象学部	備考
7月18日	授業公開 Day	教養学部	予約不要
		教育学部	
8月8日	夏のオープンキャンパス	教育学部	要予約 (7月7日(木)開始予定)
8月9日		理学部・工学部	
8月10日		教養学部・経済学部	



詳細はホームページに掲載します。 <http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/open.html>



●埼玉大学連続市民講座 part 7「埼玉の“いま”を知り、未来を考える(仮)」

- 第1回 7月23日
- 第2回 8月27日
- 第3回 9月24日
- 第4回 10月22日
- 第5回 11月19日
- 第6回 12月17日

時間：各回とも 14:00 ~ 15:40
 会場：埼玉大学全学講義棟 1号館 3階
 定員：350名 (事前申込み不要)
 共催：読売新聞さいたま支局
 問合せ：埼玉大学広報渉外室
 Tel：048-858-3927
 Fax：048-858-9057

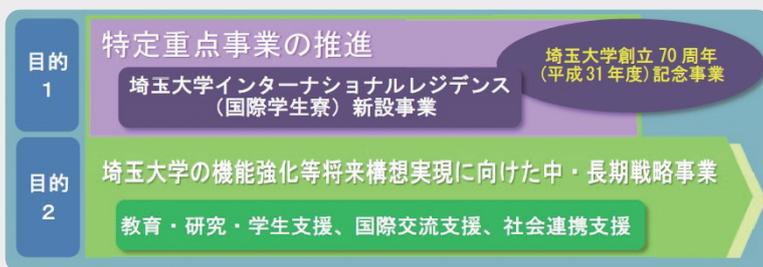
※詳細は決定次第ホームページに掲載します。

埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内

埼玉大学基金は、右図の2つを目的として平成25年11月に設立され、以来、皆さまからのご理解とあたたかいご支援をいただいております。

趣旨にご賛同いただける方には詳しいご案内をお送りいたしますので、下記お問い合わせ先までご請求いただけますよう、お願い申し上げます。

なお、埼玉大学基金ホームページの「手続きフォーム」からお申し込みいただくことも可能ですので、併せてご覧ください。



古本募金「きしゃぼん」のご案内

不要となった本やDVDをお送りいただくことで、その査定額を埼玉大学基金にご寄附いただくことができます。5点以上であれば送料は無料です。皆さまからのご支援をお待ちしております。

○詳細は「埼玉大学基金ホームページ」の「埼玉大学古本募金」(<http://www.saitama-u.ac.jp/funds/kisyapon.html>)から。

◆埼玉大学基金室 (広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐<http://www.saitama-u.ac.jp/funds/index.html>

